

GREEN

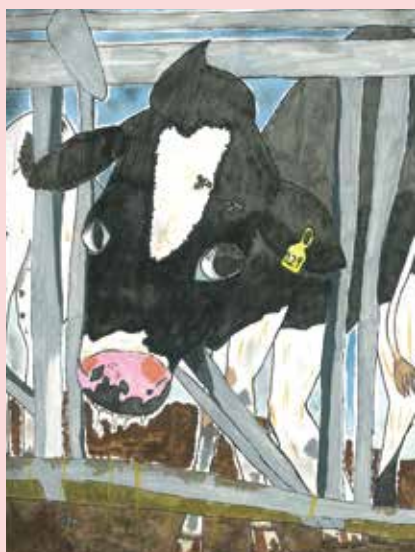
全農長野県本部情報 グリーンレーダー

Rader

2026

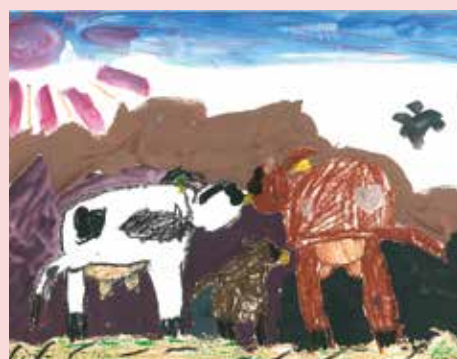
1

Vol.560



◆第40回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール

長野県知事賞



新春にあたって ～令和八年 年頭メッセージ～

重点事業方針

A-**P**olicy

生産購買部 農業資材課の取り組み

- ・2025年 各部のトップニュース 3
- A-**R**eports
- ・～大阪・京都・松本の各地で冬季枝肉共励会を開催～ 7
- ・JAみなみ信州産「市田柿」トップセールス 9
- ・JA佐久浅間と佐久市が「お米のトップセールス」 9
- ・花き青年部による花育授業を実施 10
- ・「くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」表彰式を開催 11
- ・「牛乳乳製品利用料理コンクール」入賞者が決まる 11

- ・今月のおすすめレシピ 12
- ・1月のラジオ番組表 12
- ・編集後記 12



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

新春にあたって



全国農業協同組合連合会

長野県本部 運営委員会会長

神農 佳人

明けましておめでとうございます。
輝かしい新春をお迎えのことと心より
お慶び申し上げます。

昨年の夏季は酷暑でしたが、6月～
8月の平均気温は平年を2・36℃上回
る未曾有の高温となりました。国内最
高気温や各地での猛暑日数などの記録
が次々と塗り替えられる年であり、長
野県においては、長野市で平均気温
2・3℃高、松本市で2・2℃高とな
りました。このため、高温障害や日焼け
被害、局地的な豪雨の発生などにより

様々な品目に影響を及ぼしました。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻
の長期化、米中の対立や不安定な中東
情勢などによる原材料・エネルギー価
格高騰、国内運送業界での時間外労働
の上限規制に伴う物流費上昇など、生
産に必要な肥料・資材・燃料は高止ま
り傾向となり、農畜産物の営農環境は
厳しい状況が続いています。

我が国の食料自給率は先進国の中
でも最低水準にあります。令和の米騒動
に象徴されるように食料品の流通が注
目され、食と農への関心が高まってい
る状況下において、「食料安全保障の
確立」はJAグループの最重要使命の
一つです。そのため、長野県本部は安
全・安心な食料供給に向けて、役割を
果たすべく事業を遂行してまいります。
また、生産現場における多くの課題
に対処するため、産地振興に向けた営
農基盤強化を目指し、各施策の具体化
に向けて、引き続き組織をあげて取り
組みを進めてまいります。

長野県本部の運営につきましては、
今後とも県本部総合経営管理体制の堅持の
基本をふまえ、JAとの一体的な事業

運営を行い、県域結集拡大とその成果
をJA組合員へ還元してまいります。
今後も運営委員会会長として、引き続
き健全な事業運営と長野県農業の発展
に尽力していく所存であります。

本年は「2025～2027JA長
野県3ヵ年計画」「県本部中期事業計
画（令和7～9年度）」の2年目の年
となります。この中では、①持続的な
農業生産基盤づくりによる農業生産量
の維持・拡大、②販売力強化とコスト
低減による農家組合員の手取り最大
化、③JA経済事業の収支改善と活気
ある地域社会づくりを基本目標として
います。

特に販売力強化については、適正な
価格形成のため、メディア媒体を通じ
た啓蒙活動の強化、個別取引先との交
渉、「国消国産」の組織的取り組みな
どを進めます。

また、コスト上昇分の価格転嫁に向
けて消費者の理解醸成に取り組み、物
流・資材コスト低減に努め、JA組合
員の農業所得向上に向けた機能発揮に
努めてまいります。

持続可能な農業生産を推進するため

に、長野県本部内の3部連携を通じた
担い手支援強化や、農業DX化による
生産基盤強化にも取り組んでまいり
ます。

本年は「午年」です。午年は太陽の
ような明るさと行動力を象徴する年だ
といわれています。また、午という文
字は杵に由来し、杵の力でお米が餅
になるように勢いを象徴する縁起の良
い漢字であるともいわれています。予
測不能で不透明な時代ですが、あらた
めて「組合員のために何をすべきか」
という原点に立ち返りながら、長野県
本部は今まで培ってきた経験や糧
にさらに成長するため、AIを駆使し
たスマート農業普及などの新たな改革
に積極的に挑戦し、農業振興と地域活
性化に向けての機能を誠実に果たして
まいります。

結びになりますが、組合員をはじめ
地域の皆様がご健勝で、災害のない実
り多い年となりますようご祈念申し上
げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

農業資材課

生産購買部

農業資材課の取り組み

J A全農長野農業資材課は、令和7年度の機構改編により段ボールや園芸副資材を取り扱う包装資材事業とビニールハウスやマルチ等の生産資材を取り扱う農業資材事業、店舗運営を担う資材店舗事業が一つとなった部署になりました。農業資材関連業務を一手に行うことで業務の効率的運営を目指し、対応力を強化しています。

1. 需要結集マルチの取り組み

ポリマルチの価格は原料となる石油製品の高止まりにより値上げが続いています。安価な資材供給のため規格と荷下ろし場所を集約する需要結集に取組み、メーカーの閑散期の製造や値上げ前の引き取りを条件に、より安価な価格を引き出すことが出来ました。結果、令和7年度、県下で344ha分の受注となり前年より215%の増と大幅なコストダウンに結びつけることができました。

2. 環境負荷低減マルチの取り組み

環境負荷低減の取り組みとして、



薄膜マルチ展張後のレタス定植作業の様子

従来のポリマルチより厚みの薄い薄膜マルチの拡大と生分解性マルチの普及を進めてきました。
薄膜マルチは従来のマルチより約20%薄く、廃プラスチック処理量の低減に貢献しています。また、価格面についても安価なことからコスト低減対策として有効な資材であり、さらなる普及拡大を進めます。
生分解性マルチは使用後畑に鋤き込むことで分解し、廃プラスチック



薄膜マルチの剥ぎ取り作業

処理の必要がない環境にやさしい省力資材です。しかし、ポリマルチと比べ価格が高いことが課題となっているため、従来品より薄く、低コストである「とらーず」の普及にも取り組んでいます。試験では、薄くても分解速度は従来品と遜色無い結果が得られ、導入されるJ Aが増えてきました。



生分解性マルチ「とらーず」試験の様子



きゅうりの高温障害対策として白黒マルチを試験

資材供給、環境負荷低減への取り組みを行っていきます。

2025
Top news

各部の トップニュース

生産振興部

① 圃場カルテシステムの利用拡大

令和5年度よりアスパラガス圃場カルテシステムの運用を開始し、現在5JAに導入いただいています。このシステムは、生産者の圃場ごとに品種や栽培面積といった情報や、樹勢や病害虫の発生状況等のデータを蓄積し分析することで、高単収を挙げられる栽培モデルを構築するためのものです。

導入から3年が経過し、単収アップを実現した生産者も見受けられます。今後、アスパラガス生産振興の一助となるよう更なる普及を目指してまいります。



作成された圃場カルテ

② 収益性向上に向けた簡易雨よけ栽培の推進

近年、集中豪雨や長雨、高温等、不安定な天候により病害等の発生など収量に影響が出ています。また、



簡易雨よけ栽培の圃場

施設関連資材の高騰により施設化のハードルが高くなりつつあります。生産振興部では、令和5年度より果菜類の収益性向上、施設化の低コストを目的とした、「簡易雨よけ栽培」の実証を県下で行ってきました。本年度、実証結果を踏まえた「簡易雨よけ栽培」の仕様等のパッケージ化を行い、県下で普及が進んでいます。

担い手推進センター

① 担い手推進における取組

令和4年度より「担い手推進センター」が発足し、生産販売部門、生産購買部門、生産振興部門の部門間連携によりJA系統事業の推進、農

生産販売部

① 「令和の米騒動」政府備蓄米放出への対応

2024年8月頃から顕在化した米の品薄・価格高騰によって、2025年1月に「米の円滑な流通を図るため」として政府備蓄米の買

業生産基盤の維持・拡大、生産販売力強化を進めています。JAと本会担い手推進チームが連携し、担い手への訪問を行い、栽培技術や資材提案、課題解決に向けた推進を継続して取り組んでいます。今後も担い手の要望等に応える提案推進を行ってまいります。



備蓄米倉庫をメディアに公開（4月3日）



信州産農産物を活用した商品

② ㈱ファミリーマートとのコラボ商品開発

(株)ファミリーマートと信州産農産物を活用した新商品を開発しました。商品は全6商品で7月1日～8月上旬にかけて長野県・山梨県の

戻し条件付き売渡しが行われることが決定しました。全農として入札備蓄米を取り扱い、長野県本部枠としても9,706・83tを確保し県内外の米穀卸を通じ、小売店や中食向けに流通しました。取り扱いにあたっては、県民の皆様適切に情報をお届けするために、のべ9回の県内メディア向け情報発信を行いました。



7月1日の記者発表会

シャインマスカットの5品目。また7月1日には(株)ファミリーマートと全農、全農長野が長野県知事への新商品販売報告と記者発表を行いました。(株)ファミリーマートからは「本企画全体を通して消費者には好評で売上げも良好だった」と報告をいただきました。

約340店舗にて販売されました。使用原料はレタス、キャベツ、セルリ、アスパラガス、

③ 食育・花育の取り組み強化

果実花き

課では、果実ときのこの食育として11月に(株)伊藤園と連携した視察研修を開催しました。花きでは、大学や小学



10月に大阪の小学校で実施した食育授業



10月に実施した名城大学での花育

生産購買部

① JA農業機械ご成約プレゼントキャンペーンの実施

2025年は、例年開催している「JA農機&資材フェスタ」の会場となるエムウェーブが改修工事のため使用できず、開催を見送ることとなりました。

その代替推進策として、「JA農業機械ご成約プレゼントキャンペーン」を企画し、景品には信州産肉

校と連携し、イベント、生け花体験教室などを花育として実施しました。野菜きのこ課では、県内外の小学校で食育授業を5回実施。きのこの収穫体験やシイタケの駒打ち体験、きのこ・ハクサイを使用した調理実習など、生徒に体験してもらうこと意識した食育の組み立てを試みしました。

(牛肉・豚肉)や家電製品等を農業機械専門部会にて選定のうえ、実施しました。

本キャンペーンは、期間内(6月～8月)にJAより150万円以上/台の農業機械をご成約いただいた方を対象とし、応募総数は235件、対象成約金額は10・9億円に達し、当初の想定を上回る結果となりました。期間中に各JAで開催された展示会や実演会でも有効に活用され、上半期の統一企画として大きな成果を収めることができました。



キャンペーンのチラシ

② 期待の新剤「フィールドマスト」フロアブル®発売

農薬事業では、本県の主要作物であるハクサイ、ブロッコリー、キャベツなどのアブラナ科作物で、コナガヤアオムシ、ハスモンヨトウなどチョウ目害虫に卓効を示す新規園芸用殺虫剤「フィールドマスト」フロアブル®が発売されました。本会が

単独で開発を進めてきた農薬原体であり、園芸分野ではジェネリック剤以外で初めての新規開発剤となります。

新たな作用機作を有することから、本県においても過去より確認されている既存剤に抵抗性を示すコナガなどに、ローテーション防除薬剤の1つとして期待されます。



畜産酪農部

① 信州プレミアム牛肉を和牛ワールドオークション2025に初出品

4月4日(金)～5日(土)、和牛マスタ―食肉センター(兵庫県姫路市)でオークションイベントが開催されました。信州プレミアム牛肉の上場は初となり米国、カナダ、EU、台湾、オーストラリアなど14の国と地

域から約120名のバイヤーがオークション(セリ)に参加しました。信州プレミアム牛肉のチャンピオンは5,490円/kgの高値でオーストラリアのバイヤーにセリ落とされ、他の出品牛も3,300円/kg以上の高値でセリ落とされ、信州プレミアム牛肉の品質の高さが認められました。



集まったバイヤーに信州プレミアム牛肉をPR

② 全日本ホルスタイン共進会10年ぶりの開催

10月25日(土)～26日(日)、第16回全日本ホルスタイン共進会が北海道で開催されました。長野県からは6頭の代表牛が出場し、全国46都道府県から生産者が手塩にかけて育てた386頭の乳牛が集まりました。長



優等賞4席に入賞した長野県代表牛

野県の代表牛からは優等賞4席入賞、その他も1等賞多数と健闘しました。

共進会は、月齢・種ごとに第1部から20部に分けて、出品牛の体形、バランス等を審査・講評され、最高位賞には地元北海道の出品牛が受賞しました。この大会を通じ、全国の生産者同士の交流及び、乳牛の改良促進の一助となるよう努めていきたいと思います。

③ 三岳牧場が県内産共励会で最優秀賞を獲得

7月に大阪市食肉市場(株)で開催さ

れた第46回信州和牛(長野県産)枝肉共励会には、長野県内各地から選りすぐりの生まれも育ちも長野県産の信州和牛35頭が上場されました。セリ販売に先立ち行われた枝肉審査で、全農長野三岳牧場の去勢牛が最優秀賞に選ばれました。この入賞牛はロース芯面積120cm²、霜降り度合いを示すBMSナンバーは最高値のNo.12、枝肉重量をはじめ歩留り基準値や品質の高さなど総合的に評価されました。当日のセリには大阪市食肉市場(株)に購買者が多数来場され、信州プレミアム牛肉を求め小売店や専門店の購買者も参加されました。特に脂質や肉質など品質が高く、評判も良いことから需要が高く、購買者も多いため、注目の集まる最優秀賞となりました。セリでは枝肉の評価を反映し、3,700円/kgで落札されました。



最優秀賞に選ばれた三岳牧場の枝肉

くらし支援部

① ENEOS公式アプリを活用した販促施策

燃料・ホームエネルギー課では、ENEOSのサービスステーションで利用できる「ENEOS公式アプリ（以下アプリ）」を活用した販促施策を実施しています。当アプリは値引きクーポン※やお得な情報の配信、アプリでの決済が可能となる機能があります。

今年度は特にモバイルEnekey（クレジットカード情報を紐づけることでアプリでの決済が可能となる機能）の登録拡大をすすめており、獲得コンテストや重点推進期間を設けて展開してきました。2025年10月末時点では累計約15,000件のお客様にモバイルEnekeyを登録いただき、JA-SSをご利用いただいております。

今後は令和7年度登録目標



6,000件の達成を目指し、2026年1月～2月に獲得コンテストを実施しながら、更なる組合員の利便性向上に向けて販促活動に取り組んでまいります。

※クーポン配信有無は店舗によって異なります

② 長野県A・コープとの事業連携

SS協同経営課と（株）長野県A・コープは、SSとA・コープ店舗にご来店いただいたお客様に、それぞれの一層の利用を促進（相互送客）するキャンペーンを実施しました。

キャンペーン内容は、2025年6～7月に「SSで3,000円以上利用したお客様にA・コープ友の会50ポイント引換え券を進呈」「A・コープ店舗で3,000円以上利用した友の会会員にガソリン・軽油10円/L値引き券を進呈」するもので、協同経営加盟6JA（みなみ信州・木曽・松本ハイランド・大北・



A・コープ友の会50ポイント引換え券



ガソリン・軽油10円/L値引券

グリーン長野、ながのの26SS・16店舗が参加しました。

この企画はお客様から好評を得ており、A・コープ店舗でのポイント引換者は1,977人（総発券枚数の16%）、SSでの値引き券利用者は6,962人（総発券枚数の24%）

という一定の相互送客を果たせた結果になりました。

この結果を踏まえて、「SS・A・コープ店舗双方でのお客様PR」を強化し第2弾を実施します。引き続きのご愛顧をお願いいたします。

③ 「和牛焼肉 信州そだち」オープン

2025年5月7日(水)、長野駅前に全農の直営飲食店「和牛焼肉 信州そだち」がオープンしました。全農グループは国産農畜産物の消費拡大や外食産業における利用促進を目的に全国で直営飲食店を展開しており、長野県では初出店、全国では49店舗目となりました。

くらし支援課では長野県産の肉・野菜・果物・米、加工品などを供給するとともに販売部門や全国本部との連携によりレタス・スイカ・ブルーベリー＆プラム・きのこなどの各食材のフェアの展開やメディアを活用した利用促進を行っています。

店舗は系統組織はもちろん一般のお客様の利用も多く、毎日賑わっています。今後はインバウンドを対象とした積極的な誘致も行い、店舗を通じて長野県産農畜産物の更なる発信に努めてまいります。



畜産酪農課

大阪・京都・松本の各地で冬季枝肉共励会を開催

信州の牛肉が各地共励会で高評価

牛肉消費は例年11月下旬から年末年始にかけて、最大の需要期を迎えます。信州のおいしい牛肉をPRすべく、JA全農長野では県内外で各種の共励会を開催しました。

長野県食肉公社で畜産共進会・松本即売会を連日開催

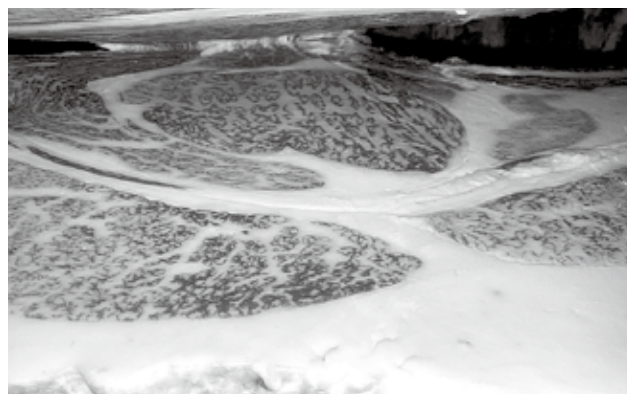
第78回長野県畜産共進会交雑の部および第76回信州肉牛松本即売会を長野県食肉公社で開催しました。交雑の部ではJA信州うえだの久保田聖さん、即売会ではJA長野八ヶ岳の津金武幸さんが最優秀賞を受賞しました。両日出品された信州の牛肉は、長野県農協直販株が開催する「信州の牛肉展示即売会」にて販売され、多くの取引先の年末商戦の目玉として販売されました。

●11月28日(金) 第78回長野県畜産共進会(交雑の部) 出品頭数：交雑種28頭、場所：(株)長野県食肉公社(松本市)
(敬称略)

賞	JA名	生産者	枝肉重量	性別・格付	BMSNo.
最優秀賞1席	信州うえだ	久保田 聖	604.9kg	雌A5	BMS.8
優秀賞1席	松本ハイランド	小林 和義	578.2kg	去勢A5	BMS.8
優秀賞2席	信州うえだ	久保田 美恵子	575.2kg	雌B4	BMS.7
優良賞(順不同)	佐久浅間	角田 敏明	490.1kg	雌A4	BMS.7
//	佐久浅間	高塚 賢一	482.1kg	雌A4	BMS.7

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
交雑種去勢	553.6kg	1,628円
交雑種雌	517.7kg	1,698円



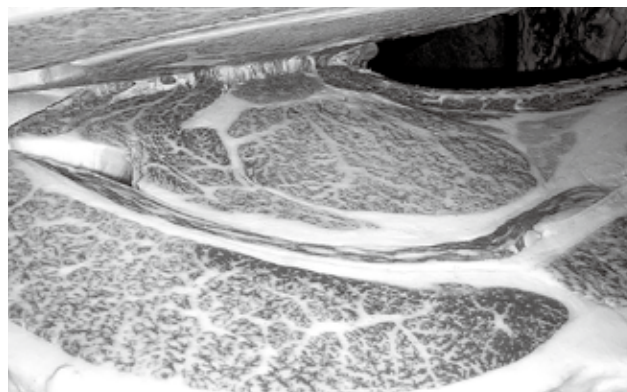
第78回長野県畜産共進会 交雑の部 最優秀賞(久保田聖さん)

●11月29日(土) 第76回信州肉牛松本即売会 出品頭数：和牛28頭、場所：長野県食肉公社(松本市)
(敬称略)

賞	JA名	生産者	枝肉重量	性別・格付	BMSNo.
最優秀賞1席	長野八ヶ岳	津金 武幸	501.9kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞1席	松本ハイランド	小林 和義	530.6kg	去勢A5	BMS.12
優秀賞2席	木 曾	黒内 拓美	550.4kg	雌A5	BMS.12
優良賞(順不同)	大 北	山口 年春	504.9kg	去勢A5	BMS.11
//	な が の	(農)美雪ファーム樋口	532.6kg	去勢A5	BMS.11

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	523.4kg	2,666円
和牛雌	454.1kg	2,525円



第76回信州肉牛松本即売会 最優秀賞(津金武幸さん)

第46回信州和牛（県内産）枝肉共励会

12月1日(月)、第46回信州和牛（県内産）枝肉共励会を京都食肉市場(株)で開催しました。この共励会には、生粋の長野県生まれ・長野県育ちの信州和牛36頭が上場しました。

信州プレミアム牛肉および4等級以上比率100.0%（5等級以上比率91.7%）と生粋の信州和牛が高品質と評価されました。なかでも、最優秀賞を受賞したJ A信州うえだ(有)小田切牧場の枝肉は、枝肉重量576.9kg・格付A 5・BMS12・ロース芯面積95cm²・オレイン酸含有率55.2%と素晴らしい枝肉でありました。

●12月1日(月) 第46回信州和牛（県内産）枝肉共励会

出品頭数：和牛36頭、場所：京都食肉市場（京都市）

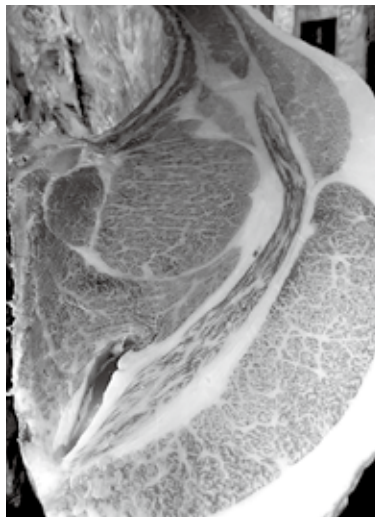
（敬称略）

賞	J A名	生産者	枝肉重量	性別・格付	BMSNo
最優秀賞1席	信 州 う え だ	(有)小田切牧場東部	576.9kg	去勢A 5	BMS.12
優 秀 賞1席	南 信 酪 農	中原 洋	623.7kg	去勢A 5	BMS.12
優 秀 賞2席	全 農 長 野	三岳牧場	520.5kg	去勢A 5	BMS.12
優 良 賞(順不同)	佐 久 浅 間	(株)グリーンフィールド 金子牧場	455.6kg	雌A 5	BMS.12
//	松本ハイランド	(有)高原牧場	650.9kg	去勢A 5	BMS.12

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和 牛 去 勢	565.2kg	2,627円
和 牛 雌	474.2kg	2,520円

第46回信州和牛（県内産）枝肉共励会
最優秀賞（(有)小田切牧場 東部）



最優秀賞に全農長野の三岳牧場

第78回長野県畜産共進会和牛肥育の部を大阪市食肉市場(株)で開催しました。当日は、県内生産者により丹精込めて育てられた選りすぐりの黒毛和種46頭が出品され、去勢・雌共に4等級以上比率100.0%（5等級以上比率91.3%）と品質に優れた共励会となりました。

また、長野県独自の美味しさ基準を満たした「信州プレミアム牛肉」には全体で46頭（認定率100%）が認定され、J A全農長野の三岳牧場が最優秀賞を受賞しました。

●12月2日(火) 第78回長野県畜産共進会（和牛肥育の部）

出品頭数：和牛46頭、場所：大阪市食肉市場（大阪市）

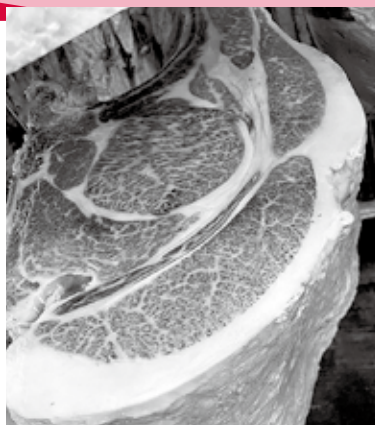
（敬称略）

賞	J A名	生産者	枝肉重量	性別・格付	BMSNo
最優秀賞1席	全 農 長 野	三岳牧場	612.0kg	去勢A 5	BMS.12
優 秀 賞1席	み な み 信 州	井坪 章	568.8kg	去勢A 5	BMS.12
優 秀 賞2席	信 州 う え だ	(有)小田切牧場	532.2kg	雌A 5	BMS.12
優 良 賞(順不同)	み な み 信 州	唐沢 裕輔	598.6kg	去勢A 5	BMS.12
//	み な み 信 州	夢ファーム高森農場	544.0kg	去勢A 5	BMS.12
//	な が の	(農)美雪ファーム樋口	578.0kg	去勢A 5	BMS.12

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和 牛 去 勢	574.7kg	2,756円
和 牛 雌	508.6kg	2,648円

農林水産大臣賞を受賞する井出部長



第78回長野県畜産共進会 和牛肥育の部
最優秀賞（三岳牧場）



第78回長野県畜産共進会和牛肥育の部
農林水産大臣賞に輝いた三岳牧場の枝肉

今後も畜産酪農課では、信州の牛肉消費拡大および県内外へのPRに取り組んでまいります。信州産の牛肉を食べて生産者の皆さんを応援しましょう！

(東京販売事務所・大阪販売事務所)

ＪＡみなみ信州産「市田柿」 トップセールス

ＪＡみなみ信州は12月2日(火)、東京と大阪で特産の「市田柿」のトップセールスを開催しました。

東京都中央卸売市場大田市場では東京青果(株)協力のもと、同社イベントコーナーに市田柿のメインアイテムとなる170gトレーを展示し、柿すだれをデザインした横断幕、のぼり旗、ポスターを飾るなど、会場を市田柿色に染めPRしました。

ＪＡみなみ信州の中村彰組合長からは「本年は天候にも恵まれ、美味しい干柿に仕上がっています。皆様の期待以上の味が出ているので、自信をもってお勧めいただきたい」と挨拶がありました。また、柿部会の熊谷正紀副部長からは「生産者を代表して産地から来ました。しっかりと市田柿を売っていただきたい」と、集まっていた市場関係者・仲卸の皆さんに向け、熱い思いが述べられました。

挨拶後には中村組合長と熊谷副部長が「今年の味を確かめてほしい」と集まった市場関係の皆様に個包装の「市田柿」を手渡しました。

大阪市中央卸売市場本場・大果大阪青果(株)果実売場も170gトレーと化粧箱入りの商品を展示し、横断幕、のぼり旗で装飾しました。

ＪＡみなみ信州の塩澤昇常務が「もっちりとした食感の非常に糖度が高い、品質の良い市田柿に仕上がりました。関西の皆さんはじめ世界の皆さんに届けていただきたい」と挨拶しました。松澤正芳柿部会長は「皆様の力で市田柿の知名度をより一層上げて頂き、販売につながるよう、生産者を代表してお願いします」と力を込めました。

大阪販売事務所ではこの日に合わせ、同社経営戦略広報室の企画のもと、大阪市立吉野小学校の3年生



会場を市田柿色に染めてPR



挨拶をする塩澤常務



市田柿博士として参加したＪＡみなみ信州の片桐主任

85名を対象に、市田柿の食育教室を行い、ＪＡみなみ信州からは片桐主任に市田柿博士として参加していただきました。みなみ信州の地域や市田柿が作られるまでを説明した後、児童に市田柿を食べてもらいました。初めて食べたという児童が多く「甘くておいしい」と大変好評でした。持ち帰り用に個包装の市田柿とパンフレットをプレゼントし、おうちの方にも知っていただく機会を提供することができました。

全農長野は今後も関係ＪＡ・事業所と連携し県産農産物のPRに努めてまいります。

米穀課

ＪＡ佐久浅間と佐久市が「お米トップセールス」

ＪＡ佐久浅間と佐久市は11月18日(火)、佐久市内で東都生活協同組合へ米のトップセールスを行いました。

関東で事業を展開している東都生活協同組合（以下、東都生協）は、ＪＡ佐久浅間産の米を20年にわたり販売しており、東都生協における米の取扱量が最も多い産地がＪＡ佐久浅間です。ＪＡ佐久浅間の米はＪＡ全農長野を経由し、東洋ライス(株)で金芽米として精米され、生協組合員の皆様に届けられています。

今回のトップセールスは、佐久市・ＪＡ佐久浅間・東都生協のトップ同士が交流することで、三者の関係をより強固なものとし、継続的かつ安定した生産と消費の実現を目的に開催しました。それぞれの取り組みや課題を共有し、安定供給・安定消費の継続に向けて、更なる関係構築を進めることができました。

全農長野米穀課では、引き続き産地と実需のつながりを大切にしながら、長野米のブランド確立とPRを進めてまいります。



(左から) ＪＡ佐久浅間米穀専門委員会・小林利国委員長、全農長野・根津彰寛副本部長、佐久市・柳田清二市長、ＪＡ佐久浅間・高柳利道組合長、東都生活協同組合・風間与司治理事長

(果実花き課)

花き青年部による花育授業を実施

全農長野花き専門委員会花き青年部は、10月1日(水)に長野市立湯谷小学校で、11月13日(木)に阿智村立阿智第一小学校で花育授業を実施しました。

この花育授業は花き青年部から「幼少期から花に触れる機会を作りたい」という要望があり、長野県花きイノベーション推進協議会との共催で実現しました。当日は花き青年部員が講師となり、両校合わせて61名の児童に花の魅力を伝えました。

授業の前半は、青年部員から長野県の花の紹介や花農家の話をしました。全国生産量日本一の品目を中心に紹介したところ、「初めて知った」という反応が多くありました。

後半は、湯谷小学校ではトルコギキョウ、カーネーション、アルストロメリア、阿智第一小学校ではダリア、カーネーション、アルストロメリアを使い、フラワーアレンジメントの制作を行いました。青年部員とJA、全農長野職員が講師となりコツを説明しながら授業をすすめ、各品目の色や特徴を生かした思いの作品が完成しました。



長野県の花の紹介や花農家の話をする青年部員



アレンジメントの制作に挑戦

授業後の感想発表では、「花の名前を覚えることができた」「お花がきれいだった」などたくさんの感想があり、「またフラワーアレンジメントをやりたい」という要望も多く、大変好評でした。

花き青年部による花育は、1月に開催する「信州フラワーショーウィンターセレクション」でも予定しています。参加した皆さんが、将来“花を楽しむ・購入する・飾る”ことを日常生活で自然に取り入れられる種まきになるような花育授業を、今後も幅広い世代へ拡大してまいります。



完成した作品

畜産酪農課

「くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクール表彰式を開催

長野県牛乳普及協会（事務局／ＪＡ全農長野畜産酪農課）は11月22日（土）、ＪＡ長野県ビルで「第40回くらしと牛乳、牛さんありがとう」絵のコンクールの表彰式を開催し、金賞10名を表彰しました。



金賞を受賞した10名

応募総数875点の中から厳正

なる審査の結果、金賞10名、銀賞10名、銅賞10名、佳作6名を選考し、金賞の部の中から穂高南小学校の石川愛梨さん（＝表紙左上）、昭和小学校の寺田杏さん（＝表紙中上）、あさま幼稚園の中澤舞帆さん（＝表紙右上）の3名が長野県知事賞を受賞しました。

入賞した皆さんの作品は、牛の表情や動きが生き生きと表現されており、見る人を惹きつける魅力に溢れていました。

金賞および銀賞の作品は、11月に長野県庁1階ロビーとＪＡ長野県ビル1階ホールで展示しました。

このコンクールは園児・児童の牛乳利用普及拡大および酪農理解醸成を目的に開催しています。畜産酪農課は、今後も後援をいただいた関係団体とともに「安全・安心な信州産牛乳」の消費拡大に努めてまいります。

畜産酪農課

「牛乳乳製品利用料理コンクール」入賞者が決まる

長野県牛乳普及協会は10月31日（金）、ＪＡ長野県ビルで「第43回牛乳乳製品利用料理コンクール」の書類審査会を開催し、応募総数155点の中から入賞者5名を選考しました。高校生を中心に多くの若い世代から斬新でユニークなレシピが寄せられ、審査員一同、楽しくも真剣に審査を行いました。

厳正な審査の結果、最優秀賞（長野県知事賞）は、南箕輪村の井口薫さんの「きのこ蕎麦と追い飯リゾット」が選ばれました。牛乳たっぷりのスープでいただくきのこ蕎麦に続き、残ったスープに水切りヨーグルトとご飯を加え、リゾットに仕上げるという斬新なアイデアに圧倒されました。



最優秀賞を受賞した井口薫さんの「きのこ蕎麦と追い飯リゾット」
レシピは12ページをご覧ください

いずれの入賞作品も牛乳や乳製品を上手く活用し工夫を凝らしたレシピで、ぜひ家庭でも作りそのおいしさを体験していただきたいと思わせる作品でした。

このコンクールは、一般消費者や学生を対象に、日常の食生活のなかに牛乳および乳製品をより活用してもらう動機付けと定着を図ることを目的に開催しています。後援をいただいた関係団体とともに、今後もコンクールをとおして「安全・安心な信州産牛乳」の普及と消費拡大に努めてまいります。

JA全農長野の事業現況

令和7年度11月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	—	2
野菜種苗センター		136	108	110
生産振興部計		136	108	106
米	穀	14,992	98	113
果実花き		41,092	91	92
野菜きのこ		61,999	95	95
営業		11,723	91	97
生産販売部計		129,806	94	96
農業資材		8,108	98	123
肥料農薬		5,241	111	84
農業機械		4,925	110	109
施設住宅		2,714	163	74
生産購買部計		20,988	110	100
畜産酪農		21,905	104	102
三岳牧場		178	80	89
S P F繁殖センター		182	85	102
八ヶ岳牧場		202	96	95
畜産酪農部計		22,467	103	102
燃料・ホームエネルギー		16,198	107	96
S S協同経営		5,087	115	98
くらし支援		4,818	97	93
くらし支援部計		26,102	106	96
長野県本部計		199,499	98	97

(内部販売高含む)

1月のラジオ番組表

放送日時	放送局	番組名	出演
1/28(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくせえぶりでい内「暮らしの応援団」	燃料・ホーム エネルギー課

編集後記

あけましておめでとーございます。おかげさまで本誌もここに、2026年1月号を発売することができました。新たな年、「午年」がスタートします。馬は昔から人々の暮らしを支えてきた大切な存在であり、家族を守り、幸せを運ぶ動物として親しまれてきました。農作業の労働力としても、かつては重要な役割を果たしてきました。我が家でも曾祖父の代には馬を十頭以上保有し、家業の農業や運送業、地元の草競馬などに活用されていたようです。私が幼少期に曾祖父が健在だった頃、草競馬に数回連れて行ってもらったことを思い出します。家には草競馬の優勝旗を飾られていました。祖父の代では、農業の労働力として農耕馬を飼育し、農繁期には田畑での作業に大いに活躍していたようです。母の幼少期には、家の馬小屋で夜間に馬が暴れて困ったという思い出を、母が強い動物なると、静かにさせるにも苦労したようです。馬に関する言葉には「勝ち馬に乗る」や「馬車馬」など、力強さや勝利を目指す意味合いで使われるものがあります。そのように馬の力にあやかり、勢いに乗っていきける一年にしたいと思っています。

(T)

今月のおすすめレシピ

第43回牛乳乳製品利用料理コンクール 最優秀賞レシピ

きのこ蕎麦と追い飯リゾット

レシピ考案：井口 薫さん

【材料(4人分)】

ぶなしめじ…………… 200g
エリンギ…………… 150g
白だし…………… 130cc
水…………… 700cc
上新粉…………… 50g

塩…………… 小さじ1/2
牛乳…………… 600cc
そば(乾麺)…………… 320g
ごはん…………… 320g
刻み青ネギ…………… 大さじ4
白すりゴマ…………… 大さじ4

A

鶏ひき肉…………… 200g
豚ひき肉…………… 100g
みそ…………… 40g
甜面醬…………… 20g
豆板醬…………… 10g
白すりゴマ・すりゴマ…………… 各大さじ2
ニンニク(チューブ)…………… 4g
ショウガ(チューブ)…………… 2g

B

ヨーグルト…………… 400g
*水切りして150~160gにする
粉チーズ…………… 10g
ニンニク(チューブ)…………… 2g
塩…………… 小さじ1/2
黒コショウ…………… 適量
玉ねぎ…………… 1/8個

【作り方】

《はじめに》

- ①ヨーグルトを水切りする。
ザルとザルより一回り小さいボウルを用意し、ザルにキッチンペーパーを敷いてヨーグルトを入れる。ヨーグルトの上にラップを掛け、ヨーグルトが150~160gになるまで水切りする(ラップの上に重りを置いてよい)。
- ②玉ねぎは繊維を断つように1cm幅に切り、水洗いして絞る。
- ③そばをゆでる湯を沸かしはじめる。
- ④米を炊くか、冷凍ご飯を温める。

《作り方》

- ①Aの材料をボウルに入れて混ぜる。
- ②ブナシメジを小房に分け、エリンギは横半分に切り、縦に5mm幅に切る。
- ③白だし・水・上新粉をボウルに入れて混ぜる。
- ④鍋にきのこを入れ、油を敷かずに少し焦げ目がつき、水分が出始めるまで炒め、塩小さじ1/2を振って一度取り出す(油を敷かずに炒めることで、きのこの旨味がぐっと出ます)。
- ⑤④の鍋にサラダ油(分量外大さじ1)を入れて①を広げて表面に焼き目がつくまで触らずに焼く。裏返し、少し崩しながら細かくしすぎないように焼く(中まで火が通らなくてもよい)。
- ⑥⑤の鍋に④のきのこを戻し、③を一度混ぜてから加え(上新粉が沈んでいる)、牛乳を加えてとろみがついてくるまでときどき混ぜながら加熱し、沸騰直前で火を止める。
- ⑦⑥の鍋を加熱している間に、水切りヨーグルトに⑧の材料を混ぜる。
- ⑧⑥と同時にそばを表示時間より1分短くゆでる。
- ⑨追い飯を用意する。ご飯をよそい、⑦のヨーグルトを乗せ、黒コショウをかける(大人用にはたっぷりがおすすめ)。黒コショウはできれば挽きたてがおいしい。
- ⑩そばをどんぶりに盛り、スープをかけ、刻んだ青ネギと白ゴマをかけて出来上がり。

《食べ方》

- ・まずは温かいそばをのびないうちに食べる。
- ・そばを食べ終えたら、⑨の追い飯をヨーグルトごと加えてよく混ぜる。牛乳たっぷりのスープを残さずお召し上がりください。



- ・そばはゆで麺でもよい。
- ・きのこの種類はお好みで。スープが黒くなりがちだが舞茸もおすすめ。
- ・残ったホエイは煮込み料理に使ったり、冷凍して氷の代わりにジュースに入れて使い切ってください。

第55回

入場無料

信州フラワーショー
ウィンターセレクション

長野県内で生産されている切花や花木などを一堂に集めて展示し、品評会を開催し、審査後に一般公開をします。

令和8年**1月29**日(木) 15:00~18:00

1月30日(金) 9:00~13:00

場所:JA南信会館 3階会議室

(伊那市狐島4381)

内 容

**切花や花木類の展示・予約販売※
フラワーアレンジメントや花束の即売
資材等の展示などを予定**



※予約販売 展示品は一般公開中に予約販売し、
1/30(金)13:00~14:00に引き渡します。

問合せ先:JA全農長野 果実花き課
(担当:滝澤・中野)

TEL 026-236-2222



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



写真はイメージです。

主催 全国農業協同組合連合会長野県本部・同花き専門委員会

後援 長野県、伊那市、長野県農業協同組合中央会、(一財)長野県野菜生産安定基金協会



光と風と水のハーモニー



JA全農長野



JA 全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」…………… <https://www.ja-town.com>

